

様式第2号（第5条関係）

令和3年8月7日

受 講 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員 鈴 木 千 逸

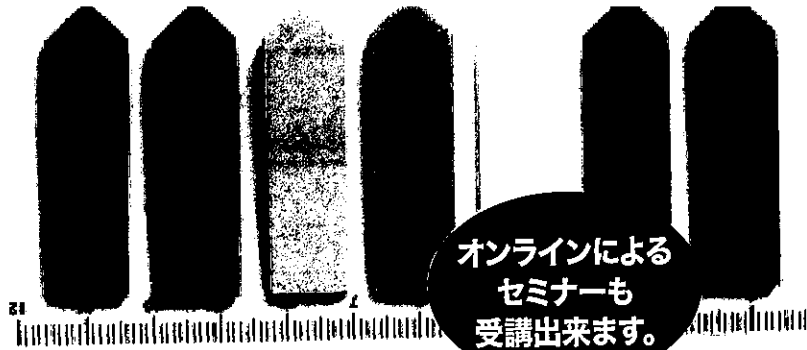
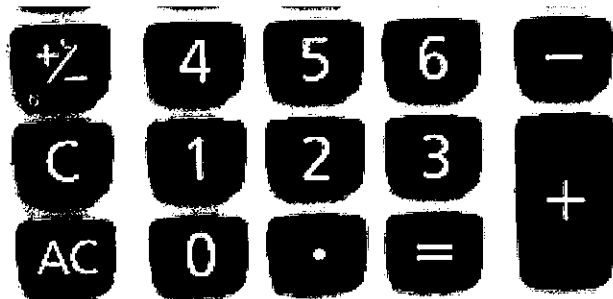


このたび、下記のとおり受講いたしましたので報告します。

記

- 1 研 修 日 令和2年7月29日（水）
- 2 目 的 オンラインによる研修受講
- 3 研 修 内 容 講師：菅原正明氏
 「議員が知っておくべき公会計（基礎編）」
 「議員が知っておくべき公会計（活用編）」
- 4 関 係 書 類 別紙のとおり





オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。

議員・職員のための

議員が知っておくべき公会計

7月29日(木) in 東京

講師：菅原 正明

【菅原正明公認会計士・税理士事務所所長】

関西学院大学経済学部卒。監査法人トーマツを経て、菅原正明公認会計士・税理士事務所を開設。「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」をはじめ、2008年から総務省の公会計に関連する研究会等の委員を歴任。著書に「図解地方公会計対応自治体職員のための複式簿記入門」等。門真市代表監査委員、関西学院大学人間福祉学部非常勤講師。



◆10:00～13:00【基礎編】

1. まずは会計的素養を身につける
2. 地方公会計の意義・あらまし
3. 地方公会計に関する基礎知識
 - (1) 単式簿記と複式簿記
 - (2) 現金主義と発生主義
4. 統一的な基準による財務書類の概要
5. 公会計の中心は固定資産台帳

◇〔概要〕-----

“会計”と聞くと、難しいという印象を持つ人が多い。ただ、日常生活で会計的な考え方を全くしない人はいない。日常生活で損得を考えること自体、会計的な判断をしていることになる。できるだけ平易な言葉を使いながら、地方公会計制度の概略を理解していただきたい。

◆14:00～17:00【活用編】

1. 公会計情報の活用について
2. 財務書類の見方
3. 指標による分析
4. 活用事例紹介（マクロ的な視点）
5. 活用事例紹介（セグメント分析等）
6. 活用事例紹介
（住民への公表や地方議会での活用）

◇〔概要〕-----

公会計情報の活用はまだ始まったばかりであり、これからのテーマである。活用の際には、会計的な素養が必要となるが、既に持ち合わせている会計的な素養を再確認することで活用が一歩でも進むようにしたい。

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

参加希望講座のチェックボックスに
☒ をお願いいたします。

フリガナ	スズキ ケイハヤ
お名前	鈴木 千逸
貴議会名	栗山町議会
領収書 お宛名	
ご住所	(〒 -)
TEL	() -
FAX	() -
E-mail	@



7月29日(木)10:00～13:00 東京
**議員が知っておくべき
公会計【基礎編】**



7月29日(木)14:00～17:00 東京
**議員が知っておくべき
公会計【活用編】**

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに☒ をお願いいたします。



オンライン受講

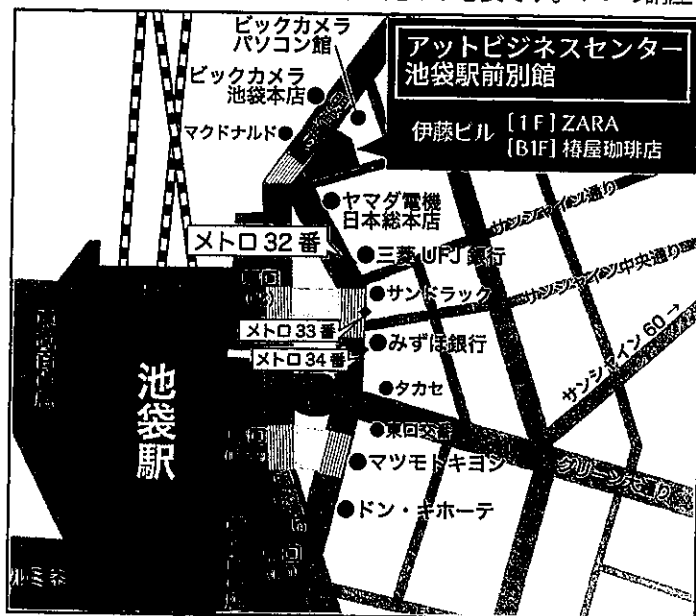
※オンライン受講ご希望の方は必ず Email をご記入ください。

★キャンセルは 7 日前までにメールまたは FAX にてご連絡ください。

※お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたは FAX にてご送付させていただきます。

※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。

※お一人様につき 1 つの講座の申し込みが必要です。1 つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。



受講料

各講座受講 15,000 円(税込)

2 講座受講 25,000 円(税込)

開催場所

アットビジネスセンター池袋駅前別館

JR山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線

地下鉄丸の内線/有楽町線/副都心線

池袋駅東口地下鉄32番出口 徒歩10秒

「お問い合わせ・事務局」

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧ください。

(株)地方議会総合研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6

<https://www.gikaisoken.jp>

TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

日 時	令和 3 年 7 月 2 9 日 10 : 00 ~ 17 : 00
視 察 先	オンラインによる受講
調査事項	「議員が知っておくべき公会計（基礎編）」 「議員が知っておくべき公会計（活用編）」
対 応 者	公認会計士・税理士 菅原正明氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背 景 ② 特 徴 3. 主な質疑 4. 考 察 （感想、政策提 言、課題など）	「議員が知っておくべき公会計（基礎編）」 地方公会計についての理解を深めるために受講した。 ① 背 景 地方公会計の意義・目的は自治体が住民や議会に対して財務情報をわかりやすく開示することにあると思うが現実的にはわかりづらい。議員として町民に対する説明責任を果たすためにもこの開示情報の理解を深める必要がある。そもそも、議会の監視監督機能を働かせて財政の効率化、適正化を図るためには我々が理解を深めておく必要があると思う。 今講義では 地方公会計のあらましと基礎知識 統一的な基準による財務書類の概要 公会計の中心は固定資産台帳であることをテーマに進められた。特に正確な固定資産台帳が重要であることを教えていただいた。町が持つ資産の情報、財産価値の減少の情報を正確に記録した固定資産台帳を作成することにより、財務書類が作成可能となる。この、財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書）を作成することにより見えにくいコストの見える化を図ることができる。現行の予算・決算制度では見えない、足りない情報を補完するために財務書類を整備していくことが重要であり、町民に対してわかりやすい財政情報を開示する基礎となる。 固定資産は購入費用とは別に維持費用がかかり、資産の老朽化問題はそのまま財政問題に直結する。栗山町でも何を残し、何を廃棄するかが重要な課題である。 この問題の解決のためには固定資産の現状を理解し遊休資産の見える化を図ること。固定資産台帳を公表することによりPPP/PFI（官民連携/民間ノウハウによる公共サービスの提供）に関する民間事業者からの提案につなげることが可能になるとの講義を受けた。

	「議員が知っておくべき公会計（活用編）」 財務書類の見方と活用方法 住民への公表や議会での活用などをテーマに進められた。 公会計情報の活用自体はまだ始まったばかりでありこれから議会などでどのように財政マネジメントや施設マネジメントに役立てていくかが課題となる。特に財務書類を予算編成と関連付けて反映させていくことが議会には求められる。 そのためには貸借対照表による資産状況の把握。施設ごとに行政コスト計算書での減価償却費と実際に受けている行政サービスの提供内容とのチェック。純資産変動計算書の本年度差額を見ることで現世代負担で将来世代の貯蓄ができているのか否かなど、チェックすべき内容の説明を受けた。 人口減少が進展する中であって、限られた財源を「賢く使うこと」につなげるためにこれらの視点と財務書類に係る各種指標を設定することで固定資産減価償却率を踏まえた公共施設マネジメントにつながる。これにより将来の施設更新の必要額を推計し適切な資産管理と、統廃合する際の判断材料、また受益者負担額の適正化に役立てることができることが分かった。 まずは、本町での固定資産台帳の精査とその他の財務書類のチェックを行い本講義で受講した内容を実践していきたい。
--	---